
プロジェクト 収益認識

項目 本日の検討の概要

これまでの経緯

1. 2018 年 3 月 30 日に公表した企業会計基準第 29 号「収益認識に関する会計基準」(以下「収益認識会計基準」という。)第 80 項及び第 156 項において、収益認識会計基準が適用される時(2021 年 4 月 1 日以後開始する連結会計年度及び事業年度の期首)まで(準備期間を含む。)に開示及び表示に関連する事項を検討している。

本日の検討事項

2. 本日の企業会計基準委員会では、以下の公表の承認に関するご審議を頂きたい。
 - (1) コメントの募集及び公開草案の概要(審議事項(2)-2)
 - (2) 収益認識会計基準等の文案(審議事項(2)-3)
 - ① 企業会計基準公開草案第●号(企業会計基準第 29 号の改正案)「収益認識に関する会計基準(案)」(別紙 1)
 - ② 企業会計基準適用指針公開草案第●号(企業会計基準適用指針第 30 号の改正案)「収益認識に関する会計基準の適用指針(案)」(別紙 2)
 - ③ 企業会計基準適用指針公開草案第●号(企業会計基準適用指針第 30 号の改正案)「収益認識に関する会計基準の適用指針(案)」の設例(別紙 3)
 - ④ 企業会計基準公開草案第●号(企業会計基準第 12 号の改正案)「四半期財務諸表に関する会計基準(案)」(別紙 4)
 - ⑤ 企業会計基準適用指針公開草案第●号(企業会計基準適用指針第 14 号の改正案)「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(案)」(別紙 5)
 - ⑥ 企業会計基準適用指針公開草案第●号(企業会計基準適用指針第 19 号の改正案)「金融商品の時価等の開示に関する適用指針(案)」(別紙 6)
- これらのうち、(2)の①から⑥が公表議決の対象となる。
3. なお、第 102 回収益認識専門委員会(2019 年 10 月 7 日開催)及び第 418 回企業会計基準委員会(2019 年 10 月 10 日開催)で聞かれた意見及び対応案については、審

議事項(2)-4に記載している。

以 上

別紙1 検討項目一覧

1. 収益認識会計基準の適用日までに検討する予定の項目は次のとおりである。本日審議する予定の項目はオレンジでハイライトしている。また、審議の方向性について確認した項目は、グレーでハイライトしている（文案については継続的に見直しを行っている。）。

No.	検討項目及び論点
【検討項目1】表示	
1-1-1	収益の表示科目
1-1-2	顧客との契約から認識した収益の開示（113(a)）
1-2	収益と金融要素の影響
1-3-1	契約資産と顧客との契約から生じた債権の区分表示
1-3-2	顧客との契約から生じた債権又は契約資産について認識した減損損失（113(b)）
1-3-3	契約資産と契約負債の純額処理
【検討項目2】注記事項（総論）	
2-1	全体の方向性
2-2	重要性の指針の方向性及び構成
【検討項目3】注記事項（個別案件）	
3-1	分解情報、基礎となる情報
3-2	契約残高（契約資産及び契約負債の残高等）
3-3	残存履行義務の開示
特定案件	
3-4	重要な会計方針の注記との関係の整理
3-4-1	代替的な取扱いの注記
3-4-2	実務上の便法の取扱い
3-4-3	契約コストの定め
3-5	工事契約等に関する注記事項
3-6	注記の形式（注記の記載方法、他の基準に従って情報を提供している場合の取扱い）
個別財務諸表及び四半期財務諸表の取扱い等	
3-10	個別財務諸表における取扱い
3-11	四半期財務諸表における取扱い
【検討項目4】設例	
4-1	表示の設例

No.	検討項目及び論点
4-2	開示の設例
【検討項目 5】 経過措置	
5-1	経過措置、適用日
5-2	コメント募集期間
【検討項目 6】 別途の対応	
6-1	(本日時点で、提起された案件はない)
【検討項目 7】 その他	
7-1	コメントの募集及び公開草案の概要

別紙2 これまでに審議した事項

1. これまでの収益認識専門委員会及び企業会計基準委員会においては、次の事項についてご説明した（※は企業会計基準委員会では取扱わなかった事項）。

企業会計基準委員会 又は専門委員会	内容
第94回収益認識専門委員会 (2019年3月19日開催)	(1) 収益認識会計基準が適用される時までに検討すべき事項 (2) IFRS第15号の開示規定 (3) Topic 606適用企業の開示例
第95回収益認識専門委員会 (2019年4月17日開催) 第407回企業会計基準委員会 (2019年4月25日開催)	(1) 注記事項の検討を進めるにあたっての基本的な考え方 (2) 注記事項の検討－開示目的及び重要性 (3) 収益認識会計基準等に係る表示に関する事項（※）
第96回収益認識専門委員会 (2019年5月30日開催) 第410回企業会計基準委員会 (2019年6月13日開催)	(1) 注記事項の検討－開示目的 (2) 注記事項の検討－収益の分解情報 (3) 注記事項の検討－収益を理解するための基礎となる情報
第97回収益認識専門委員会 (2019年6月20日開催) 第411回企業会計基準委員会 (2019年6月27日開催)	(1) 表示の検討－契約資産と顧客との契約から生じた債権の区分表示 (2) 表示の検討－顧客との契約から生じた債権又は契約資産に係る減損損失 (3) 表示の検討－契約負債と契約資産の純額表示の要否 (4) 表示の検討－収益認識会計基準等に係る表示に関する設例 (5) 注記事項の検討－契約残高（契約資産及び契約負債の残高等）に係る開示 (6) 注記事項の検討－残存履行義務に配分した取引価格 (7) 注記事項の検討－工事契約等に関する注記事項 (8) 注記事項の検討－注記の記載の形式
第98回収益認識専門委員会 (2019年7月18日開催) 第413回企業会計基準委員会	(1) 注記事項の検討－契約残高（契約資産及び契約負債の残高等）に係る開示 (2) 注記事項の検討－残存履行義務に配分した取引価格（※）

<p>(2019年7月29日開催)</p>	<p>(1) 注記事項の検討－重要な会計方針の注記との関係の整理 (2) 表示の検討－顧客との契約から生じた債権又は契約資産について認識した減損損失 (3) 表示の検討－顧客との契約から生じた収益の表示科目 (4) 表示の検討－収益と金融要素の影響 (5) 収益認識会計基準等に係る表示に関する設例 (※) (6) 収益認識会計基準等に係る注記に関する設例</p>
<p>第99回収益認識専門委員会 (2019年8月6日開催) 第414回企業会計基準委員会 (2019年8月9日開催)</p>	<p>(1) 注記事項の検討－重要な会計方針の注記との関係の整理 (2) 注記事項の検討－個別財務諸表における取扱い (3) 注記事項の検討－契約残高（契約資産及び契約負債の残高等）に係る開示 (4) 表示の検討－顧客との契約から生じた債権又は契約資産について認識した減損損失 (5) 表示の検討－顧客との契約から生じた収益の表示科目 (6) 収益認識会計基準等の文案の修正</p>
<p>第100回収益認識専門委員会 (2019年8月23日開催) 第415回企業会計基準委員会 (2019年8月26日開催)</p>	<p>(1) 注記事項の検討－重要な会計方針の注記との関係の整理 (2) 注記事項の検討－契約コストに関する注記の定め (3) 注記事項の検討－四半期財務諸表における注記事項 (4) 適用時期及び経過措置 (5) 収益認識会計基準等の文案の修正</p>
<p>第101回収益認識専門委員会 (2019年9月19日開催) 第417回企業会計基準委員会 (2019年9月25日開催)</p>	<p>(1) コメントの募集及び公開草案の概要 (2) 収益認識会計基準等の文案の修正 (3) 注記事項の検討－個別財務諸表における取扱い</p>
<p>第102回収益認識専門委員会 (2019年10月7日開催) 第418回企業会計基準委員会 (2019年10月10日開催)</p>	<p>(1) 注記事項の検討－個別財務諸表における取扱い (2) 注記事項の検討－四半期財務諸表における取扱い (3) コメントの募集及び公開草案の概要 (4) 収益認識会計基準等の文案の修正</p>

以上